友愛會勞友會聯合
罷工顛末報告大會
各辯士熱烈なる辯舌を振ふ

友愛、勞友兩會聯合にて昨十一日午後一時より友愛會にては中本町同會本部にて勞友會は大門町同會本部にて各兩回共無事に散會せしが尚今後の行動に就ては別項の如く活動する由

白仁長官との會見

顛末に就き報道演說會を開催せり同夜七時より晝間同樣兩所に於て同樣の報道演說會を開催したるが友愛會側にては藤岡文六氏開會を宣し續いて光吉悅心氏は長官の責任を問ふ、柳田直市氏は會見經過報告、藤岡文六氏は製鐵所に誠意なし、川島眞二氏は製鐵所責任者の自決を促すの題下に熱辯を揮ひ勞友會にては藤勘十氏田村正夫氏牟田口昇氏等所感に就て

相原任藏氏

は長官との會見顛末、河島眞二氏は責任者の自決を促すとの題下に各辯士は盛に熱辯を振ひ今回の始末に關し說く所あり各辯士の所說を綜合するに其要旨は「白仁長官は今回の要求案に對しては同情せるが如く語り長官としては親子の關係ある職工の要求なるを以て之れが實現を努力す可く且つ實行の確信あるが如く說示されたるも最後に事經費に關するを以て

議會の協贊

を經ざれば不可能なりとの美名の陰に隱れ有耶無耶の間に時日を遷延し事實の出現は望む可からざるにあらずやと云ふにあり」蓋夜

委員上京

昨紙所報の如く勞友、友愛、坑夫協會聯合にて熟議の結果白仁長官の責任ある返答によれば到底滿足する能はずとて友愛會より木村錠吉、藤田俊次郎兩氏勞友會より淺原健三郎、工藤勇雄兩氏鑛夫協會より本田眞夫氏の五名急遽上京する事に決し藤田、淺原兩氏は一昨夜七時十分下關發にて出發し他の三氏は昨朝九時三十分上京せしが上京の上は今回の事件勃發以來の經過報告をなし友愛會の後援を得て農商務大臣始め各省大臣に面會し續いて貴衆兩院に陳情し大々的に運動開始し經過は時々報道し東西相呼應して本問題の解決を促す可しと

中央炭坑靜穩

八幡市製鐵所盟休事件以來懸念されつゝありし製鐵所二瀨出張所中央炭坑にては萬一を慮かり取締人事係等をして全力を擧げて警戒に努めつゝあるが昨十一日朝迄は職工採炭夫雜夫共に平素の如く勤務し居れり

嚴重な警戒を
徐々解く
昨日慰勞散步

昨十一日は應援隊の七百五十餘名の警官及び百餘名の憲兵に對しては三時交互に市內の散步を許可し慰勞休暇を與へ休息せしめ卷煙、餅菓子等の配給をなし午後より徐々先發の警官より引き上げ歸任せしめしが一兩日中には全部引き揚ぐる豫定なるが憲兵隊も同樣昨日來徐々引揚をなせし由

誇大と嘘との
新聞記事に對し
某記者取調らる

今回の製鐵所事件に關し大阪某新聞社が誇大的の報道と虛僞の通信をなせしとて十日午後六時過ぎ同社通信記者八幡署に召喚檢事の取調を受けたり右は「五千名の職工が熔鑛爐を襲擊し警官隊と大衝突を惹起せし」とか「不逞鮮人が續々八幡市に入り込」云々の記事等に關し電信法違犯事件として取調を受けたるものにて或は起訴せらるゝに至るべしと觀測さる

○方針

今日より研究せねばならぬ事柄であって英米佛と獨露支那此等の勢力の何れかに結んで所謂帝國の國策を樹立せねばならぬ然らば何れと結合すべきやと云ふに英國と同盟國たる故を以て今後尚相互提携を持續し得るや否やは大なる疑問であって米國の如きは

○現在

の狀態が既に兩國の相了解し合ふて親しむとこの出來

『怠業』
當

勞友會幹